



陽だまり保育園移転準備委員会 ニュースレター“Re” 最終回



Preface

想定もしていなかった東北太平洋沖地震。3月20日に予定していました落成式を中止せざるを得ませんでした。多くの手間を経て完成した園舎で祝いの宴を楽しみにしている矢先でした。一瞬にして数万人のいのちを奪い、すべてのものを飲み込んでいった。でも、いのちあるものは復興を誓わなければならない。なぜなら、自ら望んで亡くなった人などいないのだから。間もなく第一幕を下ろします。そして、新園舎での第二幕が始まります。ふるさとへの復興の思いと共に、「みんな」で一歩あるきだそう。

※ News Letter “Re” ※

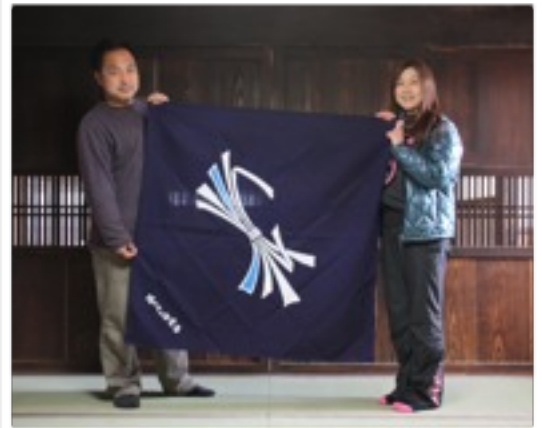
陽だまりが大切にする『つながり』

Reuse, Repair, Remake, Repeat, Recycle...ほんの少し前まで時代の中心だった“Re”の思想です。循環や共生そして協働が時代のキーワードになっています。それらは「いのち」の存在を認め合い、互いに尊敬しあうことから始まるのではないのでしょうか。

陽だまり民家保育園構想は、そんなRe-styleを見据え、地域と共に歩み、子どもの育ち環境を保障したいという願いが込められています。

3月22日に無事落成しました

思い返せば、ぼかぼかまつり実行委員長'09を解任された直後に委員長という重い任をいただいてから、1年数ヶ月が経ちました。陽だまりという大家族が協働して園舎づくりを進めたいと願って発足した移転準備委員会でした。藪切り、下草刈り、土練り、切り返し、柱洗い、竹小舞かき、荒壁塗り、薪づくり、三和土土間づくり、蜜蝋ワックス掛け、垣根づくり、茶ノ木植樹と、本当に多くのアクションがありました。



。「家」は「みんな」で「創る」という民家の思想-効率性ばかりを重視する現代社会が忘れてしまった最大事ではないのでしょうか。温もりがある空間はお金では実現できません。やはり自らが関わることでのみ、温かな雰囲気を感じることができないのでしょうか。お世話になりましたすべての陽だまりの家族に心から御礼申し上げ、落成を慎んでお祝いして結びとさせていただきます。これまでの本委員会への温かいご支援ありがとうございました。

